



南コーカサス

コーカサス・トラベル株式会社



ジョージア



アルメニア



アゼルバイジャン

文化 - 探検ツアー

WE'RE ALL CONNECTED: TBILISI

Connecting more countries than any other.



TURKISH AIRLINES

GEORGIA



コーカサス地方は、世界の文豪たちの作品の舞台にもなっております。1858年フランスの小説家アレクサンドル・デュマはコーカサス地方を旅行し、「コーカサス旅行記」という作品を残しています。デュマは自然豊かなコーカサスを訪れた際、現地の料理を楽しみ感動したと言われております。コーカサスの伝統的な料理は、「デュマ大料理辞典」(初版1873年刊)にも掲載されています。

南コーカサス

コーカサス三国は大コーカサス山脈の南側の麓に位置し、東はカスピ海、西は黒海に挟まれています。気候は非常に変化に富んでおり、有史以前から様々な民族が行き交うシルクロードの交易路に位置したことから民族的にも多様な地域で、世界の“東西文化の交差点”とも言われてきました。

古代ペルシアの支配を受け、イスラム文化の色濃いアゼルバイジャン。ワインの産地と独自の文字を持つキリスト教国ジョージア。歴史上最初にキリスト教を国教としたアルメニア。

旧ソ連が終わり、独立国として歩むこれらの国々は、様々な民族が交差し独自の文明を築いてきました。

コーカサス三国を旅すると、かつてコーカサスを越えてやって来た隊商たちに思いを馳せるとともに、隣り合わせの国々でありながら、民族、宗教、文化を異にしたコーカサス三国の深い歴史を実感することが出来ます。

山岳で隔てられていることもあり、各国の文化は大きく異なっていて、共通点は少ないのです。宗教を例にとりますと、アゼルバイジャンはイスラム教、アルメニアはキリスト教アルメニア教会、ジョージアはキリスト教ジョージア正教会というように相違点をあげることができます。

大コーカサス山脈が横たわるこの地方には、新鮮な空気と薬になるほど体に良い湧水が豊富にあります。そしてそのような自然環境の中で、今では世界中でお馴染みの植物が誕生しました。

コーカサスでは、氷河がある山脈から亜熱帯湿帯へ、乾燥地から森林へ、また、高地の村から紺碧の黒海まで旅することができます。

コーカサス・トラベルは、お客様の興味や経験に合わせたコースを設定致します。これら三カ国では、それぞれ経験豊かなガイドと運転手のチームが、皆様を御案内申し上げます。高地と湿地、海岸と砂漠、森林と乾燥地の大自然の素晴らしさを御堪能頂きつつ移動致します。



古代文明の顕著な成果の一つであるシルク・ロードは、さまざまな国や国民を結びました。それは貿易チェーンであるだけでなく、異なる文化、芸術品、工芸品、技術、概念、信念の交流のチャネルでもありました。



ジョージア

面積:	69万平方キロ
人口:	368万人
首都:	トビリシ
主な都市:	トビリシ: 120万人 クタイシ: 13万人 パツミ: 17万人
主な国際空港:	トビリシ国際空港 パツミ国際空港 クタイシ国際空港
言語:	ジョージア語
気候:	国土の大半は大陸性気候ですが、黒海に面している西部は、亜熱帯地域で温暖湿潤な気候です。
時間帯:	GMT+4:00
主な宗教:	ジョージア正教
通貨:	ラリ(GEL)
電話番号:	国のコード:995 トビリシ国際電話コード32、
電気:	220ボルト 50ヘルツ
ソケットタイプ:	ユーロプラグ、シュウコ
ビザ:	ほとんどの国の国籍者には、ビザが不要です(詳細は最後のページをご覧ください)。

国民の祝日: 1月1日〜2日/年末年始、1月7日 / クリスマス、1月19日 / 公現祭、3月3日 / 母の日、3月8日 / 女性国際デー、4月9日 / 国民統一の日、5月9日 / ファシズムに対する勝利の日、5月12日 / 聖使徒アンドリュウの記念日、5月26日 / ジョージア独立記念日、8月28日 / 聖母被昇天の日、10月14日 / 「ムツヘトバ」(スヴェティツホヴロパの祝日)、11月23日 / 聖ジョージの日、
* ジョージアのイースター休暇は毎年変わります (金曜日から月曜日まで)

ジョージアにあるお勧めのホテル:

以下のリストは、首都と地方のほんの数社の提携ホテルの抜粋です。高水準のおもてなしサービスを提供する国際ホテルや地元ホテルが数多くあります。



スタンバ・ホテル・トビリシ*****
想像力豊かでインダストリアルデザインのスタンバホテルは、ヴァンデーとモダンを融合させた表現豊かな旅を提供します。ルスタヴィ通りから徒歩数分、ヴェラ地区の魅力的なエリアに位置するこのホテルは、トビリシの生き生きとした生活とその洗練されたダイナミズムを反映しています。



トビリシ・マリオートホテル*****
トビリシ・マリオートホテルはトビリシの中心に位置し、ルスタヴィ通り、国会議事堂、オペラハウス、美術館等、多くの観光スポットへ徒歩でアクセスできる場所にあります。



ザ・ビルトモア・ホテル・トビリシ*****
ビルトモアホテルはジョージア初のガラス張りの超高層ビルで、市内全域の素晴らしい景色を眺めることができます。グランドロビーは、ソビエト時代の過去につながる建物内にあります。大理石の床、クリスタルのシャンデリア、そして不朽の柱が、昔の華やかな様子を思い出させます。



ルームズ・ホテル・トビリシ*****
トビリシのヴェラ地区の中心に位置し、元出版社の建物内にあるルームズホテルは、個人的な経験を望むすべての人にその扉を開いています。ホテルのデザイン、125の客室とスイートの美学は、インダストリアルシックの典型です。



コーティアード・マリオート・ホテル*****
コーティアード・ホテルはトビリシの中心に位置し、劇場、オペラハウス、国立美術館等、多くの観光スポットへ徒歩でアクセスできる場所にあります。



ルームス・ホテル・カズベギ*****
ルームス・ホテル・カズベギは2012年7月にオープン、客室数は156あります。コーカサス山地・カズベギ地方に位置するモダンなホテルです。ホテルのテラスから望む大コーカサス山脈の眺めは格別です。



ウィナンダリ・エステート・ラディゾン・コレクション・ホテル*****
カヘティ地方に位置するラグジョアリホテルです。チャヴチャヴァツェ家のウィナンダリ一地区に隣接し、19世紀初頭から地元の貴族や国賓が集う場所として憧れていた歴史的な庭園に囲まれています。



シェルトン・バトゥミ・ホテル*****
豪華なシェルトン・バトゥミホテルは黒海に面した高級ホテルで、バトゥミの観光地区やビーチのすぐ側に位置しています。こちらでは、24時間対応レセプションやビジネスセンターのサービス、ラウンジ、カジノ、スポーツセンター、テニスコートがご利用いただけます。



ジョージアは東のカスピ海、西の黒海に挟まれたコーカサス地方に位置し、北はロシア、東はアゼルバイジャン、南はアルメニア及びトルコと国境を接しています。69,700平方kmの国土があり、北部にはロシアとの自然国境になっている標高5000 mの大コーカサス山脈が聳えています。



現在の人口は368万人で、住民の多くはカルトヴェリ人(ジョージア人)です。ジョージアは、ジョージア語で「サカルトヴェロ」といいます。サカルトヴェロとは、「カルトヴェリ人の国」、という意味です。

ジョージアはキリスト教文化を守り続けた国で、国教はキリスト教です。ジョージア正教会は、4世紀に国教化された歴史の長い教会です。

ジョージアは、地理的・文化的にアジアではなく、又、ヨーロッパでもない独特の伝統と習慣、ユニークな言語をもつ国です。ジョージア語は、南コーカサス語族の言葉で、33文字の独自の古いアルファベットを持っています。

ジョージアには、様々な文化の交わる国として、多様な歴史・文化の遺跡、個性的な芸術が数多く残されていますから、この国は、世界遺産や建築物など多彩な魅力と見どころいっぱいの情熱的な国だと言えるでしょう。雪景色、亜熱帯の海岸、砂漠、膨大な山、森と湖が鮮やかなコントラストを見せる大自然があります。

自然: 複雑な地形と多くの気候帯によって、ジョージア地域には多様な生物地理区や地形区があり、豊かなフローラ&ファウナが楽しめます。ジョージアでは、多くの自然が国立公園・保護地として管理されていますので、観光スポットとして絶大な人気を頂戴致しております。



聖ジョージ - 国の守護者

ユネスコ世界遺産:

📍 ムツヘタの歴史的建造物 📍 ゲラティ修道院 📍 上スヴァネティ 📍 コルキス熱帯雨林と湿地

ユネスコ無形文化遺産:

🎵 ジョージアの多声音楽 🎵 古代ジョージアの伝統的なクヴェヴリワイン製造法 🎵 ジョージア語アルファベットの3つの書記体系の生きた文化 🎵 チダオバ、ジョージアでのレスリング

食の宝庫・ジョージア: ジョージアでは、多様な種類の野菜や果物が豊富で、これら食材は、肉、魚、チーズと一緒に調理されることが一般的です。その食文化や調理方法が、ジョージア人の長寿の秘訣とも言われています。各地の味でお腹も心も大満足。古代から続くスパイス、ハーブ、とうがらし、ニンニクなどを用いているのが特徴です。ジョージアでは、地元の料理だけではなく、中国、日本、インド、タイなど、様々な国の料理も堪能頂けます。

ハチャプリ ジョージアの代表的なチーズパンです。細かくしたチーズを練りこみ、生地の中にチーズを詰め込んだビーズです。ハチャプリは、地方によって様々な種類があります。ヨーグルトで練った生地と、中からとろけるチーズとバターが絶妙な味を作り上げています。	チャホフビリ ジョージアを代表する肉のトマト煮込み。トマトソースで煮込んだハーブ、ワイン、野菜と肉が美味しい。昔はキジ肉、現在は一般的な鳥肉で作られています。今でもキジのチャホフビリを味あえるレストランがあります	サツイヴィ お正月のメインディッシュ。サツイヴィは、蒸した七面鳥、鳥肉をとうがらしとハーブ入りのクルミのソースで味付けしたもので、手間がかかる料理です。	ヒンカリ 東ジョージア山地の料理。大きな水餃子や小籠包に似たもので、皮の中にはハーブで味付けされた肉とコリアンダー風味のスープが入っており、胡椒をつけて食べます。	チュルチュヘラ ジョージアの伝統的なお菓子。糸でつないだクルミやヘーゼルナッツの周りに葡萄汁を絡ませ、乾燥させたもの。保存食で、葡萄の収穫が終わる10月の末頃に作られ、次の年の収穫まで食べられます。
--	--	--	---	---





…独自性と美の組み合わせ

この国は、驚くべき文化と伝統、古代の歴史、雪に覆われたコーカサス山脈の頂上、肥沃な低地とブドウ畑、急峻な砂漠から湿地や亜熱帯までの魅力的な風景を擁する国です。印象的な岩を削った修道院や洞窟の町、数千年前の遺跡や人里離れた地域などの練り合せ...そしてそれ以上...

アルゴ船座の神話

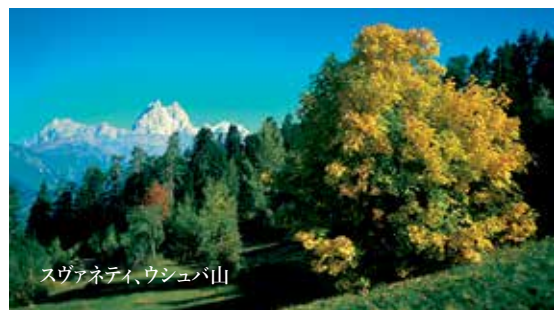


ギリシャ神話の「アルゴナウタイ」によると、3300年前に、イアソンーギリシャ王子がアルゴ船でコルキス王国(現ジョージア西部)を冒険しています。伝説では、コルキス王国は黄金羊の毛皮を秘かにアイエテス王に納めたと語られており、イアソンはこの黄金羊の毛皮を手に入れるために旅立ったのです。

ギリシャ人によって、コルキス王国は金を産出し、独自通貨を製造していました。コルキスは黒海に面し、その地理的条件からギリシャと結びついていたのです。



黄金のライオンの姿
紀元前2500～3000年



スヴァネティ、ウシュバ山

ワイン発祥の地 — ワイン造りの8000年

ジョージアにおけるブドウ栽培には古い歴史があります。最古の人類居住地のいくつかでは、考古学者が石から切り出したワイン絞り器、膨大な数の粘土や金属製のワイン容器などを発掘し、これらはすべて紀元前 6000 年以前からジョージアでワイン造りが行われていたことを示しています。

ジョージアにキリスト教をもたらした聖ニホは、太陽の光を象徴するように、ブドウの茎で十字架を作り、髪で結びました。ジョージア語のアルファベットの曲がりくねった文字は、ブドウの木の成長の跡を反映しています。それはジョージア建築の装飾モチーフとしても見られ、装飾手段としてジョージアの古い写本には大文字が織り込まれています。



乾杯長 タマダ
紀元前500～700年



イカルト・アカデミー

キリスト教の根幹

ジョージアは、西暦 337 年に世界で最初にキリスト教を正式に採用した国の一つですが、その歴史はさらにずっと遡ります。キリスト教は、1 世紀に使徒シモン、アンデレ、マティアスによってジョージアで最初に説教されました。4 世紀後半にジョージアがキリスト教に改宗したのは、カッパドキア出身の聖ニホの功績とされています。ジョージア正教会は、もともとアンティオキア教会の一部でしたが、5 世紀に独立しました。聖書は同世紀にジョージア語にも翻訳されました。

ジョージアのポリフォニー(多声音楽):



ジョージアの歌唱は、その質感と声の音色によって、神秘的に聞こえます。その音楽のほとんどは、和声や対位法の慣例に反しています。声楽家に基づくジョージアの歌唱は、ポリフォニーの独特な伝統であり、一つの歌は、3つ、場合によっては4つの独立した旋律線を含んでいます。各線は、メロディーとハーモニーの非常に高い独立性があります。



ゲルゲティ三位一体教会

スプラ・マラニ・クヴェヴリワイン:

ジョージアの「スプラ」は、豊富なワイン、タマダによる乾杯、美しいジョージアの歌、ロマンチックな雰囲気など、コミュニケーションと一緒に過ごす方法を備えたジョージアのライフスタイルに欠かせないものです。さまざまなワインがなければ、スプラ、ディナーパーティー、お祝い事などはあり得ないです。特に重要なのは、最近世界的な「ブランド」にもなっているクヴェヴリワインです。クヴェヴリワイン造りの技術はジョージア独自のもので、ユネスコの無形文化遺産に登録されています。「クヴェヴリ」の最も古いサンプルは、鉄器時代初期(紀元前 6 千年紀)に遡ります。きっとワインもスプラも伝統的なディナーパーティーも同時代なんでしょうね...



収穫したブドウとワインを醸造するための特別な倉庫「マラニ」でのディナーにご招待します。ジョージア人男性にとって、それは特別な、ほとんど魔法のような重要性を持っています。ここには、ワインの製造、熟成、保管に使用される「クヴェヴリ」陶器の容器や、家族がブドウを圧搾する巨大な木製ワット「サツナケリ」ワインプレスがあります。



コーカサス・トラベルはジョージアのベストを喜んで提供します。30年の経験を持つインバウンドツアーオペレーター会社として、当社は専門スタッフのサポートのもと、究極の旅行と感動的な思い出を与えます。

私たちは、アイデアの創出から日常業務の物流計画の設計に至って製品開発の全段階に参加し、市場に紹介する前に製品とそのすべての構成部品を慎重に選びます。

数十年にわたり、私たちは旅行、探索、学習を促す高水準のさまざまなプログラムを作成してきました。

CAUCASUS TRAVEL
SINCE 1991



アルメニア

面積: 29万平方キロ
人口: 296百万人
首都: エレバン
主な都市: エレバン: 109万人 ギュムリ: 11万人
ワナゾル: 11万人
主な国際空港: ズヴァルトノツ国際空港
シラク国際空港
言語: アルメニア語
気候: 高地大陸
時間帯: GMT+4:00
主な宗教: キリスト教(アルメニア使徒教会)
通貨: ドラム(AMD)
電話番号: 国のコード:374
エレバンの地域コード:10

電気: 220ボルト 50ヘルツ
ソケットタイプ: ユーロプラグ・シェウコ
ビザ: はとんどの国の国籍者には、ビザが不要です(詳細は最後のページをご覧ください)。

国民の祝日:
12月31日~1月1日/年末年始 1月6日 / クリスマス。3月8日 / 女性国際デー。4月24日 / 虐殺記念日。5月9日 / 勝利と平和の日。5月28日 / 最初の共和国記念日。7月5日 / 憲法記念日。9月21日 / 独立記念日
* アルメニアのイースター休暇は毎年変わります(金曜日から月曜日まで)

アルメニアにあるお勧めのホテル:

以下のリストは、首都と地方のほんの数社の提携ホテルの抜粋です。高水準のおもてなしサービスを提供する国際ホテルや地元ホテルが数多くあります。



ザ・アレクサンダー・ラグジュアリーコレクション・ホテル*****
街の発展する社会的景観に特別な新しい住所を導入したザ・アレクサンダーは、エレバンの歴史的な中心部にある初の高級国際ホテルとして知られています。ホテルはミニマルなデザイン、豪華なゴールドのアクセント、装飾的なアルメニアのモチーフが特徴です。



エレバン・マリオット*****
マリオット・ホテルは、エレバンにあります。エレバンは、商業、文化の中心で、紀元前782年に成立しました。アルメニア・マリオット・ホテルは豪華なホテルで、共和国広場に面しています。



グランド・ホテル・エレバン*****
当ホテルは、エレバンの中心部、わずか 15 分に位置する豪華で魅力的なホテルです。ズヴァルトノツ国際空港からは運転して12キロです。共和国広場、外務省、オペンハウス、国立美術館までは徒歩圏内です。



ホリデイ・イン・エレバン****
エレバンの中心部に位置するモダンなホテル。近くには様々なレストラン、ショップ、エンターテインメントセンターがあります。快適な客室は、リラックスして楽しく過ごせるように作られています。



ダブルツリー・バイ・ヒルトン・エレバン・シティセンター****
ブルーモスク、セルゲイ・パラジャノフ博物館、共和国広場から徒歩圏内にあるエレバン中心部のホテルです。絵のように美しい円形公園はホテルのすぐ近くにあります。温かいおもてなしや思い出に残る滞在をお楽しみください。



トゥフエンキャン・ヒストリック・エレバン・ホテル*****
当ホテルは2012年から営業しています。市内中心部の絶好のロケーションにあり、市内の主要観光スポットへのアクセスも容易です。この荘厳なホテルの建物は、19 世紀後半から 20 世紀初頭のエレバンの建築に準拠しています。



バリ・ホテル****
エレバンの中心部に位置するバリ・ホテルは、スタイリッシュなデザインの快適な 65 室の客室があり、リラックスした滞在を提供します。モンマルトルのレストラン・カクテルバーからは、市街とアララト山の印象的なパノラマの景色を眺めることができます。



トゥフエンキャン・アヴァン・ゾラゲット・ホテル*****
アルメニアとジョージアの各首都の中間に位置するホテルです。玄武岩で作られた正面デザインは中世のシャレーを思い出させますが、内部は有名なトゥフエンキャン絨毯、手作りの家具、アルメニア語の大きな文字で飾られています。



アルメニア

アルメニアの正式名称はアルメニア共和国で、黒海とカスピ海の間、コーカサスの南に位置しています。

文化的、歴史的、政治的に、アルメニアはヨーロッパの一部として考えられてきました。

しかしアルメニアはコーカサスの南に位置していますので、ヨーロッパとアジアの接点として、ほかの言葉や大陸を横断する民人を組み合わせる役割も務めてきました。

アルメニアは西をトルコと、北はジョージアと、東はアゼルバイジャンと、南はイランと、それぞれ国境を接しています。

旧ソ連の国々の中で、アルメニアは単一の民主国家です。アルメニアは世界中で最も古い文化をもつ国の一つというだけではなく、西暦301年に、世界中で初めて、アルメニアはキリスト教を国教(国家の宗教)として認めました。アルメニアには独特なアルファベットと言語があります。アルメニア語のアルファベットは405年にメスロプマストツによって発明され、39文字あります。アルメニア人は、ノアの直系の子孫だと言われていて、大洪水の後助けられた民族です。アララト山はアルメニアの心として存在しており、古代世界の人々にとって聖なる山でした。古代經典では、例えばエデンの園の話もアララトの地にあった、と言われています。アルメニアは、2008年にロンリープラネットのトップピック国の中に入りました。

自然: アルメニアの気候は、標高によって差はあるものの、さわやかな山と自然のおかげで、気持ちが良い雰囲気のある国だ、と言われています。日照時間が長いおかげでアルメニアには豊かな収穫があり、新鮮な野菜とおいしい果物もたくさんできます。アルメニアにある温泉に入りますと、身も心も休まります。この小さな国には、約3200種類の草木が存在していて、その内約120種は固有種だと言われています。

ユネスコ世界遺産:

🏛️ エチミアツインの大聖堂と教会 🏛️ ズヴァルトノツ遺跡・ハグバット修道院とサナヒン修道院 🏛️ ゲハルト修道院と上アザット渓谷

ユネスコ無形文化遺産:

🎭 聖サデウス使徒修道院への巡礼 🎭 アルメニアの文字芸術とその文化的表現 🎭 コチャリ、伝統的な群舞 🎭 ラヴァシュ、アルメニアの文化の表現としての伝統的なパンの作り方、意味、外観 🎭 アルメニアの叙事詩「サッスーン」の命知らず」または「サッスーンのダビデ」の上演 🎭 ハチュカルアルメニア十字石芸術 🎭 ドゥドゥックとその音楽

アルメニアの食べ物: アルメニアの伝統的な料理は詩に似ています。各行は、自分の独特な味があって、牧人と僧侶の食事の味を彷彿させます。アルメニアを旅行したら、伝統的な料理を召し上がったら、アルメニアのコニャックの作り方と知り合ったら、アルメニアの本当の味が感じられますよ。アルメニアでは、中華料理、韓国料理、日本料理を召し上げることも出来ます。

ドルマ

ドルマはアルメニア伝統的な料理で、ブドウのはっぱで作られます。食べるとき、アルメニアのマツンというヨーグルトを付けて食べます。

ホロワツ

ホロワツという料理は、どの季節にも出されます。夏のホロワツはナスとトマト、ピーマンと一緒に添えられます。

アルメニアのラワス

海外にいるときも、アルメニア人は伝統的なパン、ラワスを食べて忘れません。ラワスは、薄くて、細長いパンで、トニルの中で作られる。ラワスは、アルメニアのチーズと野菜と共に毎日の食事の主要な一部になっています。

アルメニアのバスツルマ

キリスト教以前の時代から、アルメニア人はバスツルマを作っていました。バスツルマは、牛肉で作られます。牛肉に塩を付け、この牛肉をよく洗い、その後十日から十五日間ほど乾燥すると出来上がります。

ガタとナズク

アルメニアのお菓子の中で、一番有名なものは、ガタとナズクです。重層的なこね粉の各層に油と砂糖が入っていて、おいしくて独特な味があります。





古代の歴史、豊かな文化、フレンドリーで親切な人々、何千もの歴史的・建築的記念碑、健康的でおいしい食べ物のある国。

... 世界で最も古い国の一つ

ノアの箱舟



人類はアルメニアとコーカサス地域に、約10万年前から住み始めました。それについて知っている人は少ないのですが、洞窟と岩石に見つかった彫刻が、その証拠です。

地域は、旧世界における主な水場として位置し、文明が生まれた、と言われています。

さらに、ノアの方舟の伝説は誰でも知っていますね。大洪水の後、ノアの方舟はアララト山で止まり、そしてノアがアララト山からアルメニアに降りて来た話もいろいろな文書で言及されています。

最古のキリスト教の一つ

アルメニアは、啓蒙者聖グレゴリオがアルサケス朝の王ティラディテ三世を改宗させたとき、キリスト教を採用した最初の国でした。301年にキリスト教が初めて国教として宣言されましたが、4世紀以前にアルメニアにキリスト教共同体と聖職者が存在したという歴史的証拠があります。信念によれば、アルメニアは使徒バルトロマイとタデウスによって最初に福音を宣教されました。キリスト教はこの国の生活と文化のあらゆる側面に浸透しました。アルメニアの激動の歴史は、犠牲と悲しみに満ちたキリスト教のための絶え間ない闘争の表現です。

アルメニア使徒教会は、しばしばグレゴリオ聖教会と呼ばれます。アルメニアの年代記によると、聖グレゴリオはカッパドキアでキリスト教徒として教育を受けたパルティアの王子でした。彼はキリスト教徒の迫害の最中にアルメニアに到着し、ティラディテ三世によって埋葬穴に投獄されました。救出後、聖グレゴリオは王を改宗させ、ティラディテ三世は国民にキリスト教を強制した史上初の君主となった。



アルメニアのハチュカル

十字架石は、中央に装飾的に刻まれた十字架があり、太陽または永遠の輪のシンボルの上にあり、植物幾何学的なモチーフ、聖人や動物の彫刻が添えられています。



エレバン・アルメニアの首都



セヴァナバンク

ドウドウク - アルメニアのオーボエ



アルメニアのオーボエ、またはアルメニアのドウドウクは、ダブルリードの管楽器で、暖かく柔らかい、やや鼻にかかった音色が特徴です。そのルーツは紀元前1世紀まで遡ります。人気のあるアルメニアの伝統的な歌や踊りを伴います。結婚式や葬儀など、人生の最も重要な行事で演奏されます。

アルメニアのコニャック

"晩餐を楽しむのと同じように、ハバナの葉巻を愛で、アルメニアのコニャックを慈しんで欲しい"

ウィンストン・チャーチル

アルメニアのコニャックは、アルメニアの文化と歴史の一部になっています。アルメニアのコニャックは、アララト盆地でとれるブドウだけで作られています。二回蒸留しますので、ブランデーのアルコール・パーセントが高くなります。その後、粕で作った樽の中に保存されます。樽の中に長い時間保存されますから、コニャックには樽の風味も移り、コニャックは独特の味をもち、ドライフルーツ、チョコレート、花とバニラを合わせたような味になります。

「アララト」はアルメニアのブランデーで、1887年からエレバン・ブランデー工場で生産し始めました。

コニャックは、白色のブドウと清水で作られています。三年、四年、五年、及び六年ものは、オーディナリーと呼び、十年、十五年、十八年、及び二十年ものは、エイジと呼ばれています。このコニャックは、独特な味と金色に特徴があります。



コーカサス・トラベルはアルメニアのベストを喜んで提供します。

DMC 企業として、当社はこの地域で30年間事業を行っています。旅行業界は信じられないほど相互につながっており、私たちは地元パートナーの意見を取り入れています。

高い基準を持って慎重に選択することで、やりがいのあるプログラムと一緒に作り上げることができます。

私たちは、プロフェッショナルで献身的で経験豊富で熱心な、真の市場リーダーである信頼できるパートナーを得ることができて光榮です。

CAUCASUS TRAVEL
SINCE 1991



アゼルバイジャン

面積： 86万平方キロ
人口： 1千34万人
首都： バクー
主な都市： バクー： 229万人 ガンジャ： 33万人
スムガイ： 35万人
主な国際空港： ヘイダルアリエフ国際空港
レンカラン国際空港
ザカタラ国際空港
言語： アゼリー語
気候： 亜熱帯から乾燥地まで
時間帯： GMT+4:00
主な宗教： イスラム教
通貨： 新アゼルバイジャンマナト(AZN)
電話番号： 国のコード:994
バクーのエリアコード:12
電気： 220ボルト 50ヘルツ
ソケットタイプ： ユーロプラグ、シュウコ
ビザ： 入国ビザが必要です(詳細は最後のページをご覧ください)。
国民の祝日：
1月1日～2日/年末年始。1月20日/国家追悼の日。3月8日/国際女性デー; 9 私の/勝利の日; 5月28日～29日/共和国記念日。6月15日/救いの日。6月26日/国軍の日。11月9日/国旗の日。12月31日/連帯の日。
*アゼルバイジャンの一部の祝日は毎年異なる日に祝われます。
- ノヴァツ休暇(春・月曜から土曜)
- ラマザン・バイラム休暇(春、夏、金曜日から月曜日まで)
- グルバン・バイラム休暇(夏季・水曜日から木曜日)

アゼルバイジャンにあるお勧めのホテル：

以下のリストは、首都と地方のほんの数社の提携ホテルの抜粋です。高水準のおもてなしサービスを提供する国際ホテルや地元ホテルが数多くあります。



フォア・シーズンズ・バクー*****
フォア・シーズンズ・バクーホテルは歴史的中心地に位置し、有名なランドマークを望む。中心地にある人気スポットへのアクセスが簡単です。



フェアモント・バクー*****
当ホテルは、5つ星の水準とサービスを越えるように設計されています。最高級の各部屋、サービス付きアパートメント、ユニークなスパ、優れたレストラン、バーなどを備えています。ホテルの姿をイメージした建物はバクーの象徴ともなっています



マリOTT・ホテル・アブシェロン・バクー*****
このホテルは、バクービジネス・エンターテイメントエリアに直接アクセスでき、すぐ近くにバクー旧市街があります。歴史的な場所を訪れるのが極めて容易ですから、旅行者には理想的な立地です。



ヒルトン・バクー*****
ヒルトン・バクーは歴史的中心地に位置し、旧市街を一望できる55つ星のホテルです。バスルーム、エアコン、ラジオ、衛星放送テレビ、ミニバー付きの明るい客室を提供しています。



ハイアット・バクー*****
首都バクーの中心に位置し、ヘイダル・アリエフ国際空港から車で20分ほどのところにあります。レストランのほか、バー、カフェ、フィットネスルームなどがご利用いただけます。



コートヤード・バイ・マリOTT ****
新しくオープンした当ホテルは、伝統とスタイルを革新的なデザインと組み合わせることで、今日の目の肥えた旅行者の期待に応えます。ウィンターパークの近くに位置し、アゼルバイジャンの活気ある首都を探索する理想的な出発点です。



サファイア・ベイル ****
ベイルの何世紀にもわたる歴史を持つサバイル地区に位置するこのホテルの特徴は、ヨーロッパと母国のスタイルを巧みに組み合わせ、抑制、高貴、調和の顕著な特徴を備えたインテリアデザインです。



マカラ・シェキ・シティ・ホテル ****
シェキの主要観光スポットの近くに位置し、快適で居心地の良いこのホテルは、美しい庭園に囲まれています。タザバザールまでは楽しい散歩を楽しめます。市内中心部まで歩いて、旧市街に数多くあるカフェで伝統的なお茶を飲んだり、スイーツを味わったりしてください。



アゼルバイジャン

アゼルバイジャン

は、カスピ海の西岸にあり、大コーカサス山脈が北西部の国境線となっている豊かな歴史、多くの建造物、青い海に育まれたコーカサスの国です。また、ゾロアスター教、キリスト教、そしてイスラム教が出会った国でもあります。

アゼルバイジャンは、世界最古の文明の一つにも数えられ、アジフ洞窟では30万年前の人類(ネアンデルタール人)の祖先が発掘されました。

シルクロードと繋がっていた首都バクーの旧市街には、多くの歴史的建物が残っています。

アゼルバイジャンの風に吹かれながら、シルクロードを旅したキャラバンに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

自然：大コーカサス山脈の南東斜面は、高山性、亜高山性の牧地で森林も深く、この山脈は東部に行くに従って低い丘陵に変わり、アブシェロン半島となってカスピ海に没しています。

アゼルバイジャンは天然資源が豊富で、石油、天然ガスの産出国。主要産業は、石油関連と農業です。首都バクーの南部から西部にかけては、海面よりも低い広大な土地が広がっていて、其処には16自然保護区があり、アゼルバイジャンの自然の特徴やもしろさを深く知りたいと思う方にオススメ。国立公園や自然保護区を訪れ、大自然の中でハイキングが楽しめる場所です。



ユネスコ世界遺産：

🏰 ゴブスタンのロックアートの文化的景観 🏰 カーン宮殿のあるシェキの歴史的中心部 🏰 シルヴァンシャー宮殿と乙女の塔のあるバクーの城壁都市

ユネスコ無形文化遺産：

🎵 ムガム音楽 🎵 アゼルバイジャンのアシクの芸術 🎵 絨毯織りの芸術 🎵 カマンチャの芸術 🎵 チョフカンゲーム 🎵 ケラガイシルク 🎵 ラヒジの銅工芸品 🎵 フラットパン作り 🎵 ノウルーズ 🎵 ドルマ作り 🎵 タールの芸術 🎵 ヤリ踊り 🎵 デデ 🎵 コルクドの壮大な文化、民話、音楽 🎵 ミニチュアの芸術 🎵 ナル 🎵 バイラミ 🎵 ナスレッディンホジャの伝統を伝える逸話 🎵 ペレヴァンリクススポーツ 🎵 チャイの文化 🎵 蚕養

アゼルバジジャン料理：

グルメの国・アゼルバイジャンでは、地方色豊かな郷土料理が楽しみの一つ。首都バクーでは各地の郷土料理も食べられますが、昔からの農家や羊飼いに伝わる伝統料理が今も残っています。また、エスニックまで様々な食事を楽しむことが可能です。サフラン、ザクロ、ドライフルーツがたっぷり使用されています。コーカサスの山に近いこの地域の料理の特徴は、豊かな農作物や肉類、とりわけ牛肉を使った料理が多いことです。

ラヴァンギ

「ラヴァンギ」という鶏の丸焼きは、素朴ですがハーブやクルミがたっぷり使われ、味わい深いアゼルバイジャン南部のチキン料理です。

ルーラケバブ

串焼きのケバブ、牛肉を串に刺して焼いたもので、日本では、よくシークケバブとして紹介されています。

ピティ

ピティという羊肉、ヒヨコ豆、ジャガイモ、ハーブが入った濃厚なスープは、バクーでも食べられますが、シェキ(北部)が発祥の地とされています。

バルチャ・ボズバン

牛肉や羊肉で作られるスープで、ジャガイモ、玉ネギ、トマトがタププリと入り、ムトンとミントの軽い香りがします。

バクラバ

美味しいクレープケーキで、アゼルバイジャンの代表的なデザートです。春のお祭り・ノヴルズのとき作られます。





... 色彩豊かな国

豊かな歴史文化遺産、手つかずの自然、古代建築と現代建築、独特の文化、グルメなど...

火の国

石油・天然ガスが露頭し、自然発火することも想像に難くないアゼルバイジャン。バクー近郊、車で30分程度のところにまさにそれを証明するかのように、自噴する天然ガスが日夜燃え続けている場所・ヤナルダグがあります。アゼルバイジャン語で「炎の山」を意味します。



其処にゾロアスター教の寺院があります。寺院には仏像やキリスト像に類する像は全くありません。信者は、今でもゾロアスター教寺院を訪れ、炎を礼拝しているのです。



ゴブスタン

オイルラッシュの故郷とノーベル兄弟

アゼルバイジャンは世界最古の産油国の一つであり、バクーとアブシェロン半島は石油産業の歴史的な場所です。バクー初の外資系石油会社は、アルフレッド、ルートヴィヒ、ロバートのノーベル兄弟によって設立されました。ルートヴィヒ・ノーベルはバクーに移り、1882年にフィンランド、スウェーデン、ノルウェー、ドイツから技術スタッフを招き、バクーの「ブラック・シティ」地区にヴィラ・ペトロレアと名付けたコロニーを設立した。ノーベル賞の12%はバクーにあるノーベル兄弟石油会社のアルフレッドの株から出たと言われています。今日、石油はアゼルバイジャン国家の主な富の源泉であるだけでなく、その歴史の重要な一部ともなっています。



アゼルバイジャン絨毯



絨毯はアゼルバイジャン芸術を代表する極めて優れた美術工芸品の一つで、その起源は紀元前の古代アゼルバイジャンにまで遡ります。深みのある色彩と複雑な模様は、何百年も昔から受け継がれてきたすばらしい技術の賜物です。

ヘロドトス、クラウヂウス・エリアン、クセノフォントスなどの古代歴史家のメモには、アゼルバイジャン絨毯の作り方に関する重要な情報が残されています。宝石で飾られた金糸作りの絨毯は、主にタブリーズ、シェマヒやバルダ街で作られていたと言われます。絨毯には多くの美しい模様があります。

これは、様々な地方で生産されていたことが多様なデザインを生み出すことにつながったことを示しています。



バクーの旧市街



絨毯ギャラリー

カスピ海の黒金

好ましい環境と水の化学組成により、カスピ海は世界で最も貴重な魚種であるチョウザメの完璧な生息地となりました。「ブラック・ゴールド」ともよく呼ばれる地元のキャビアは、伝統的にチョウザメから採取され、カスピ海の珍味です。17世紀に人気が出て以来、高級品として世界的に知られ、ヨーロッパの王宮、ミシュラン星付きレストランや魚屋に供給されています。塩漬けされた貴重な卵は、伝統的にチョウザメ、ペルーガ、スタード・チョウザメの3種からとれます。キャビアは、魚油、ナッツの風味、シーフードの香りで風味付けされた純粋なタンパク質源です。キャビア作りは裏の職業であり、アゼルバイジャンの職人は非常に尊敬されています。キャビア農園の訪問はユニークな体験です。



コーカサス・トラベルはアゼルバイジャンのベストを喜んで提供します。

DMC 企業として、当社はこの地域で 30 年間事業を行っています。旅行業界は信じられないほど相互につながっており、私たちは地元パートナーの意見を取り入れています。

高い基準を持って慎重に選択することで、やりがいのあるプログラムと一緒に作り上げることができます。

私たちは、プロフェッショナルで献身的で経験豊富で熱心な、真の市場リーダーである信頼できるパートナーを得ることができて光榮です。

CAUCASUS TRAVEL
SINCE 1991



1 トビリシ/アバトバニ-ゴルガサリ王 (5世紀) は、狩猟中に温泉に直接落ちたキジを捕まえました。国王はその周囲に都市を建設するよう命じ、それをトビリシと名付けました。「トビリ」とはジョージア語で「暖かい」を意味します。



2 ナリカラ要塞-ジョージアの首都とムツクヴァリ川の渓谷を見下ろす急な丘の上に建てられた、トビリシの古代要塞。この要塞は、4世紀にシュリス・ツィケ(=「侵入のできない砦」)として築かれた。



3 アンチスハティ・バジリカ(6-18世紀)-「アンチアの教主」という有名なアイコンにちなんで名付けられたトビリシに現存する最古のバジリカ。教会の入り口の前には、中世後期のジョージア様式の優雅な鐘楼が立っています。



4 十字架修道院-アラグヴィ川とムツクヴァリ川の合流点を見下ろす崖の上に建てられた、6世紀の十字架形の修道院。この場所では、ジョージアの啓蒙者である聖ニコノが異教の寺院の敷地に大きな木製の十字架を建てました。



5 スヴェティツホヴェリ大聖堂-「命を与える柱」と訳されるこの大聖堂は、11世紀に建てられた要塞化された大聖堂です。これはジョージアのルネッサンス建築の輝かしい例であり、キリストのロープが埋葬されている神聖な場所です。



6 アナヌリ建築群-アラグヴィ地方の公爵の旧邸宅で、ジンダリ野水池を美しく見渡せます。この複合施設には、15-17世紀に遡る教会や塔が含まれています。

南コーカサスの地図

この地図は、地域を知るために主要な道路、都市、場所を示すように設計されています。地図上で示されているのは、少数の観光地だけです。以下の線形スケールは、距離の概算に使用できます。



The boundaries shown on this map are set according to the Map No. 3761 Rev. 9, United Nations, September 2014.



1 マテナダラン-エレバンにある古代文書の保管庫、研究機関、博物館です。コレクションには、アルメニア語写本のほか、アラビア語、ペルシア語、ギリシャ語、シリア語、ラテン語、エチオピア語、インド語、日本語、その他の写本が含まれています。



2 ガルニ-紀元1世紀に建てられたヘレニズム様式の寺院。アルメニア王の夏の離宮として使用されました。これは現代のアルメニアの領土にある唯一の異教の寺院ですが、他の寺院はキリスト教の採用後に破壊されました。



3 ゲハルト修道院は、4世紀に照明者グレコリウスによって、洞窟内の聖なる泉の場所に設立されました。隣接する山を部分的に削り取って造られ、アザツ渓谷の入り口の崖に囲まれています。



4 エチミアジン-アルメニア教会の中心地であり、全アルメニア人の総宗教の住居であり、エチミアジン大聖堂の所在地でもあります。最古のドーム型教会は西暦301-303年に建てられました。



5 ホール・ヴァラップ(「深い監獄」)-最も神聖な場所の一つ、ティリダット3世をキリスト教に改宗させる前に、照明者グレコリイが地下穴に投獄されていた場所です。ここからアララト山の素晴らしい景色を眺めることができます。



6 ノラヴァン修道院(7-8世紀)は、アマグ川によって作られた狭い峡谷にあります。修道院への道はそれ自体が冒険です。道の両側にある高い岩が空を覆い尽くし、やがて修道院の美しい景色が広がります。



7 ズヴァルトノツ(7世紀)は、壮大でエチミアジン大聖堂を超えるように建設されました。複合施設は神聖なトリコス・ネルセス3世の宮殿で構成されています。現在は廃墟となっており、エチミアジン市の外れに位置しています。



8 セバン湖-国内最大の湖であり、世界最大の高地湖の一つです。表面の高度は海拔1,950メートルです。アルメニア人はこの火山起源の湖を「アルメニアの青い真珠」と呼んでいます。



9 セヴァナヴァン修道院-874年に設立されたこの修道院複合施設は、セヴァン湖の北西岸の半島にあります。ここでは、十字架や追加の動機が刻まれた記念石碑であるハチカルの素晴らしいサンプルを多数見つけることができます。



10 ノラドナツ-「ハチカルの墓」(十字架の石)は、約500平方メートルの古い墓地です。さまざまな時代、さまざまなスタイルの900個のカナル。ハチカルの墓は、異教とキリスト教の両方のシンボルを組み込んだ、アルメニアのユニークな伝統です。



11 ハグパット修道院-976年にホスロヴァスIシシュ女王によって設立され、絵のように美しい風景の中に建つアルメニアの宗教建築の最良の例の一つです。この修道院は中世の主要な学習の中心地でした。



12 サナヒン修道院(10-13世紀)は、地元の建築とビザンチン教会建築の融合を表しています。サナヒンは、キュリアン・バグティ朝の行政の中心地であり、家族の埋葬地であり、聖公会の住居でもありました。



13 タデフ修道院(9-13世紀)は、タテフ村の玄武岩台地の端に位置し、哲学者、音楽家、画家、書道家、修道士が住んでいたアルメニアの知的生活の中心地でした。



7 ゲルゲティ三位一体教会（14 世紀）
標高 2170 m のカズベギ山の斜面に位置し、ヘヴィ地方で最も重要な教会です。教会の外観にある石の装飾は、地元の古代儀式や信仰を理解するのに役立ちます。



14 ヘルトヴィシ要塞—この要塞は 10 世紀にはすでに存在していましたが、それ以前の建設工事の証拠があります。二つのトンネルが川に通じており、一つは給水路として機能し、もう一つは通信用でした。



8 ウプリスツィヘ 岩窟の町（紀元前 1 千年代）は、さまざまなスタイルの岩窟文化のユニークな組み合わせと、異教とキリスト教の建築の共存で有名です。ここでは古代都市の魅力的な要素を見ることができます。



15 ガルズィア洞窟群—ジョージ 3 世とティマ女王（12 ~ 13 世紀）の治世中に設立されました。この複合施設は要塞化された修道院となり、ジョージアの政治、文化、教育、精神生活において重要な役割を果たしました。



20 マルトヴィリ渓谷—サメグレロ地方にあるこの渓谷は、ヨーロッパで最高のスキューバダイビングサイト 8 つに選ばれました。ボートまたはウォーキングツアーに参加して、山の川の峡谷、石灰岩の天然の橋、そして独特の自然を探索できます。



9 シグナギ。この町はワインと絨毯作りの文化で有名です。キシキ地区の息呑むような絶景と、18 世紀の城壁に囲まれた「愛の街」と呼ばれるシグナギの魅力をお楽しみください。



16 クタイシは、ジョージア第二の都市です。古代コルキス王国の首都であると考えられています。この都市は建築様式の興味深い混合を表しており、さまざまな文化的および宗教的名所、さらには博物館の宝物を持っています。



21 ダディアニパレス。歴史と建築の複合博物館には、サメグレロ地方の王子の宮殿、植物園、ダディアニ家が収集したさまざまなテーマのコレクションや宝物を展示する博物館が含まれています。



10 ツィオナダリ家の邸宅とワインセラー。かつては 19 世紀の貴族詩人アレクサンドル チャヴチャヴァゼが所有していました。この邸宅は、別荘、庭園、いくつかのヴィンテージの白ワインを備えたワイナリーで構成されています。



17 グラティ修道院—12 世紀にダビッド建設王によって設立された建築複合体。聖母教会、聖ジョージ教会、聖ニコラス教会、文化、宗教、哲学の重要な中心地であるグラティアカデミーが含まれます。



22 ウシュグリ。標高約 2200 メートルに位置し、ヨーロッパで最も標高の高い村です。スヴァネティ地方にあるこのユニークな中世の要塞村は、見張り台、住居、壁画で飾られたバシリカの集合体です。



11 アタベルディ大聖堂（11 世紀）—当時最も高いジョージア様式の教会は、異教の時代からの聖地であるアラザン渓谷に建てられました。このエレガントな教会は、外観にブドリつと太陽の装飾が施されており、そのシンプルさと威厳、そして記念碑性が特徴です。



18 バグラティ大聖堂—バグラト 3 世（西暦 1003 年）によって建てられ、ドーム型教会建築の素晴らしい例であり、石の彫刻の印象的な例で有名です。何世紀にもわたって損傷した大聖堂は、現在の状態に再建されました。



23 バトミ。モダンなスカイラインを持つ非常に人気の海のリゾートであるバトミは、紀元前 3 世紀にはすでに人が住んでいたジョージア最古の都市の一つです。バトミはギリシアとローマの情報源によって、黒海的主要な港の一つとして言及されています。



12 グレミ。シャハスの侵襲で破壊された、かつて繁栄していた町の遺跡を代表する 16 世紀の建築物群です。この複合施設は王城、大天使教会、考古学博物館で構成されています。



19 プロメテウス鍾乳洞—化石堆積物が大きく異なる 16 室の部屋があり、鍾乳石、石筍、ヘリクタイト、カーテン、石化した滝、洞窟真珠、地下の川や湖などの素晴らしい景色を眺めることができます。



24 ギノオ要塞（紀元前 3 ~ 2 世紀）—「水の場所」を意味する「アスバルント」として知られ、当時最大の港の一つであり、ローマ・ビザンティン時代の軍事建築の最良の例です。



1 バクー イチェリ シェヘル。旧市街（7 ~ 12 世紀）は、バクーの歴史的な中心部です。旧市街はバクーで最も古い地域で、城壁に囲まれています。ジュマ・モスクはイスラム暦 126 年を建立年としています。



3 乙女の塔。ギズガラシとしても知られ、城壁都市バクー（12 世紀）の一部として建てられたバクーの旧市街にある古代の塔です。メイデンタワーには博物館があり、街の歴史的進化的物語を展示しています。



5 アゲジャギヤフ。17 世紀に建てられた拝火崇拜者の古代宗教寺院です。多くの外国人旅行者や歴史家がこの城のような場所を描写しています。これはゾロアスター教徒が巡礼中に訪れ、今も訪れている神聖な場所の一つです。



6 ヤナルダグは、地面から漏れ出る天然ガスが継続的に燃焼するユニークな地質サイトです。この自然現象は、強い圧力を受けて地表に浮上する湿地ガスの凝縮によって形成されました。



9 シェマキのジュマ・モスク（743-744）の建設日は、モスクのファサードにアラビア語の合字で明記されています。この記念碑的歴史的外観は、アゼルバイジャン領土におけるアラブ人の統治とイスラム教の普及に関連しています。



2 シルヴァンシャー宮殿。この複合施設には、宮殿の本館であるディヴァン・ハーン、埋葬室、ミナレットのあるシャのモスク、霊廟、東の門、貯水池、浴場の残骸が含まれています。



4 アゼルバイジャン カーペット博物館は、10,000 点を超える膨大なコレクションに驚かされるでしょう。17 世紀から 20 世紀に織られた絨毯のほかに、宝飾品、陶器、古い金属工芸品のコレクションも展示会の一部です。



6 ヤナルダグは、地面から漏れ出る天然ガスが継続的に燃焼するユニークな地質サイトです。この自然現象は、強い圧力を受けて地表に浮上する湿地ガスの凝縮によって形成されました。



9 シェマキのジュマ・モスク（743-744）の建設日は、モスクのファサードにアラビア語の合字で明記されています。この記念碑的歴史的外観は、アゼルバイジャン領土におけるアラブ人の統治とイスラム教の普及に関連しています。



14 ギュムリ。アルメニア第 2 の都市は、アルメニアの創造的・歴史的な中心地です。市内には、特徴的な黒い石造りの家々が立ち並ぶ古い地区が自慢です。歴史的な中心部には、レストラン、カフェ、工芸品の工房、ギャラリーが数多くあります。



10 クバはアゼルバイジャンの北東に位置する小さな町で、数多くの小さなレストランでユニークな料理体験を提供しています。この場所では最高のカーペットで有名です。カーペットを振ることは今でも地元の女性の間で人気があります。



11 キナリグ。美しい村は海抜約 2300 メートルにあります。石で建てられた 380 以上の家が山に登り、高層ビルのように見えます。ある家の屋根は、上にある別の家の中庭になっています。



12 ラヒジ。石造りの家、石畳の通り、数多くの工芸品店が並ぶ小さな村です。歴史的に、ラヒジには 7 つの山、7 つの泉、7 つのモスク、7 つの浴場に囲まれた 7 つの居住区がありました。



13 シェキカーン宮殿（1790-1797）。この夏の離宮は、シェキ宮殿内より大きな宮殿複合施設から唯一残っている建造物です。そのファサードは色とりどりのタイルと美しいモザイクで覆われています。



14 キシュ村のアルバーニ教会は、コーカサス地方に建てられた最初のキリスト教教会であると考えられています。最初の教会はこの第 1 CC にありましたが、この場所は、コーカサス地方のアルバーニで最も古い精神的中心地の 1 つと呼ばれることがよくあります。



アゼルバイジャン、バクーの近代都市の眺め

トビリシ、ジョージア

ズヴァルトノツ、アルメニア

デビッド・ガレジ修道院、ジョージア

ラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国

コーカサスのひと目

アルメニア-ジョージア-アゼルバイジャン

9日/8泊

以下のプログラムは、非常に限られた時間枠内で3か国すべてを探索する機会を提供します。旅はアルメニアから始まり、陸の国境を越えてジョージアに進み、トビリシからバクーへの直行便でアゼルバイジャンへと続きます。この文化プログラムは、首都とその美しい地域の主な観光に焦点を当てています。

- 1日目: エレバンに到着。空港でのお迎えとお手伝い。ホテルへトランスファー
- 2日目: エレバンとその周辺の訪問。アルメニアの首都エレバンを探索する。バスツアーを楽しむ、美術館やギャラリーを訪れる。午後は、岩の多い丘に彫られたガルニ異教寺院とゲハルト修道院を見学する
- 3日目: エチミアジンとズヴァルトノツへの日帰り旅行。全アルメニア人のカトリコス総主教の聖座を訪問する。午後はズヴァルトノツの遺跡を探索する
- 4日目: エレバンからトビリシへ。途中、セバン湖に少し立ち寄る。アラベルディ地方では、向かい合う山脈に位置するサナヒン修道院とハグバット修道院を訪れる。ジョージア国境を越えてトビリシへ向かう
- 5日目: 二つの首都の観光。トビリシを訪れ、旧市街の狭い通りを散歩する。午後は、ジョージアの旧首都ムツヘタとその数多くの文化的、歴史的、宗教的名所を訪れる
- 6日目: カヘティ地方への日帰り旅行。ワインの国を楽しむ。塔付き 防御壁に囲まれたシグナギ町訪問。ジョージアのワイン造りの伝統について学ぶ
- 7日目: トビリシ-バクー。トビリシ空港に移動し、バクー行きの直行便に乗る。イチャリ シャハールと呼ばれるバクーの歴史的な中心部の午後観光をお楽しみ
- 8日目: アプシェロン半島とゴブスタン。アプシェロン半島の油田を探索し、拝火者の寺院であるアテシュガールと燃える山 - ヤナル ダーを訪れ、午後はゴブスタン・ロックアート文化景観へドライブ
- 9日目: 出発。バクー国際空港へトランスファー

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 1090キロ/ ツアー - 最大 305キロ/日
歩行オプション - 2 ~ 4 時間、ハイキング1 時間



ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

 コーカサス・トラベルは障害者に特別な配慮を払っており、可能な場合には、車椅子の障害者のための優しい環境を作り、改善するように最善を尽くします。ロゴマークのあるプログラムは車椅子でもご利用いただけます。

コーカサスを横断する

アゼルバイジャン-ジョージア-アルメニア

13 日/12泊

以下のプログラムは、近いながらも文化や宗教の点で大きく異なる 三か国のハイライトを紹介します。お客様は、カスピ海からコーカサス山脈の高峰まで、肥沃な土地から標高の高い高山高原まで、さまざまな気候帯を旅し、文化、宗教、建築の名所を探索します。地元の人々と触れ合い、伝統的なものをお楽しみください。

- 1日目: バクーに到着。空港でのお迎えとお手伝い。ホテルへトランスファー
- 2日目: バクーとアプシェロン半島を訪れる。イチェリ・シェヘルと呼ばれるバクーの旧市街を探索し、午後はアプシェロン半島を探索する。アテシュガール-拝火礼拝者の寺院とバーニング マウンテン-ヤナル ダー訪問
- 3日目: バクーからシェキへ。途中、シュマカとラヒジの歴史的および宗教的な場所を訪れる
- 4日目: シェキ。シェキ観光を楽しむ、コーカサス初のキリスト教会であるアルバニアのキシュ教会を訪問
- 5日目: シェキからトビリシへ。ジョージアの国境を越えた後は、ワイン地方であるカヘティを探索し、シグナギ 町を散歩する。ジョージアのワイン造りの伝統について学ぶ
- 6日目: トビリシ市内観光。何世紀もの歴史を持つ町を訪れ、その博物館の宝物を発見する
- 7日目: トビリシ-グダウリ。有名な軍事道路に沿って北に運転する。ジョージアの古都とユネスコ世界遺産であるムツヘタ町を探索し、グダウリへ向かう途中、ジンヴァリ ダムを見下ろすアナヌリ建築群を探索する
- 8日目: カズベギ山とコーカサス山脈の高峰への日帰り旅行。ゲルゲティの丘まで歩いて、カズベギ山の影に美しく佇むゲルゲティ三位一体教会を訪れる
- 9日目: グダウリからスターリンの生誕地であるゴリを経由してトビリシへ向かう。スターリン博物館と紀元前 1 千年紀にまで遡る珍しい洞窟の町、ウプリスツイへを見学する
- 10日目: エレバンへドライブ - 途中、ハガルツィン修道院複合施設を訪問。セバン島の青い海沿いを散歩し、セヴァン修道院とノラドウス修道院、ハチュカルの野原、クロス・ストーンズを訪れる。セバン島で宿泊
- 11日目: エレバン市内観光。岩の多い丘に彫られたガルニ異教寺院とゲハルト修道院を訪れ、エレバンのバスツアーを楽しむ、地元の美術館・博物館を訪れる
- 12日目: コール ヴィラップとノラヴァンクへの日帰り旅行。緑の丘の風景とアララット山の双峰の印象的な景色を楽しむ、重要な宗教的および歴史的な場所を訪れる
- 13日目: 出発。バクー国際空港へトランスファー

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 1755キロ/ ツアー - 最大 330キロ/日
歩行オプション - 4 ~ 8 時間、ハイキング1 時間



ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

トルコ北部への延長プログラム

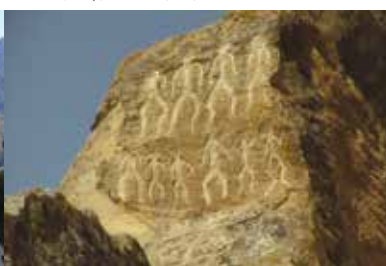
ジョージアとトルコの間の2つの直行便国境通過ポイントと、トビリシ、パトゥミ、バクーからの定期便(トルコ航空)により、当社のツアーをトルコまで有機的に拡張することができ、素晴らしい機会を提供します。伝説のカップドキアへの旅。トルコ最高のビーチリゾートで休んだり、リラックスしたり、経済、文化、歴史の中心地であるイスタンブールで数日過ごしたりしてはいかがでしょうか。ご希望のわくわく延長プログラムをカスタマイズするには、お問い合わせください。

ディリジャン、アルメニア

スヴェティツホヴェリ大聖堂、ムツヘタ、ジョージア

ゴブスタン、アゼルバイジャン

平和の橋、トビリシ、ジョージア



ラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国



シルヴァンシャー宮殿、バクー、アゼルバイジャン



ゲハルト修道院、アルメニア



乙女の塔、バクー、アゼルバイジャン



ウシュグリ村、ジョージア

南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国

ユネスコ世界遺産を巡る旅

アゼルバイジャン-ジョージア-アルメニア

14日/13泊

このプログラムは、最も重要な文化的、宗教的、建築的ハイライト、さらには考古学的な遺跡や博物館の宝物を訪問することで、コーカサス3か国の文化遺産を深く知ることができるように設計されています。2週間の期間内にゲストは国から国へと旅し、南コーカサスにあるすべてのユネスコ世界遺産を訪れます。

- 1日目: アゼルバイジャンの首都バクーに到着。ご宿泊はバクー
- 2日目: バクーの旧市街及び郊外(乙女の塔、アプシェロン半島、アテシュギャフ)の観光。ヤナルダグ-燃えている火煙山の見学。ご宿泊はバクー
- 3日目: 専用車にてシェキへ。途中、古都シャマフに立ち寄ります。ゴブスタン遺跡見学。シェキ着後、旧市街を散策(シェキ・ハーンの宮殿等)。ご宿泊はシェキ
- 4日目: ジョージア・ワインの産地カヘティへ向かう、途中シグナギ街の見学、ジョージア・ワインのワイナリ見学。ご宿泊はトビリシ
- 5日目: トビリシ市内観光、旧市街、メヒ教会、シナゴグ、浴場地区の見学。ご宿泊はトビリシ
- 6日目: ジョージア第2の都市クタイシへ。途中、世界遺産古都ムツヘタ観光。バグラディ大聖堂やゲラティ修道院を訪問。ご宿泊はクタイシ
- 7日目: コーカサス山中の自然の中に独自の文化が残る世界遺産の上スヴァネティ地方へ。着後、上スヴァネティ地方の中心メスティアと周辺の村観光。ご宿泊はメスティア
- 8日目: ウシグリへ。ウシグリ村の世界遺産観光。ご宿泊はメスティア
- 9日目: 午前、メスティア博物館見学。クタイシへ。ご宿泊はクタイシ
- 10日目: ゴリへ向かう。スターリン博物館の見学。ゴリの近郊にある岩肌をくりぬいて作られたウプリスツィへ洞窟住居跡を見学。ご宿泊はトビリシ
- 11日目: アルメニア国境へ。セヴァン、サナヒンやハフパット修道院訪問。ご宿泊はエレバン
- 12日目: アルメニア唯一のヘレニズム建築ガルニの神殿、崖を彫り進めて造ったゲアルダの洞窟修道院訪問。ご宿泊はエレバン
- 13日目: アルメニア正教の総本山エジミアチン大聖堂、ズヴァルトノツ遺跡見学。ご宿泊はエレバン
- 14日目: エレバン出発

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 2430キロ/ ツアー・最大 395キロ/日
歩行オプション - 4〜8 時間、ハイキング2 時間



ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

お客様の特定の興味に合わせてツアーを企画し、調整いたします。
特別な旅程、内容調整などのご要望がございましたら、
お問い合わせください。
それに応じてツアープログラムをカスタマイズいたします。

コーカサスのベスト

アゼルバイジャン-ジョージア-アルメニア-ジョージア

21 日/20泊

この包括的なプログラムは、文化遺産と自然遺産の印象的なパズルを探索する機会を提供します。ゲストは、かつてシルクロードの旅行者やヨーロッパに向かうキャラバンが使用していた古代の道をたどって国から国へと旅します。絵のように美しい村や町、渓谷と山々の対照的な風景、気さくな地元の人々が旅を一生の感動に満ちたものにします。

- 1日目: バクーに到着。空港でのお出迎えとお手伝い。ホテルへトランスファー
- 2日目: バクーとアプシェロン半島を訪れる。イチェリ・シェヘルと呼ばれるバクーの旧市街を探索し、午後はアプシェロン半島を探索する。アテシュガー-拝火礼拝者の寺院とバーニング マウンテン-ヤナル ダー訪問
- 3日目: バクーからシェキへ。途中、シェマカの歴史のおよび宗教的な観光地を訪れる。午後は、シェキ観光を楽しむ
- 4日目: シェキからトビリシへ。ジョージアの国境を越えた後は、ワイン地方であるカヘティを探索する。シグナギ 町を散歩し、アラザニバレーの素敵な景色を楽しむ
- 5日目: トビリシ市内観光。何世紀もの歴史を持つ町を訪れ、その博物館の宝物を発見する
- 6日目: トビリシ-ステパンツミダ。途中、ジョージアの古都ムツヘタ町を訪問し、ジンヴァリ ダムの青い海を見下ろすアナリ建築群を探索する
- 7日目: ステパンツミダ-トビリシ。ステパンツミダの高地で朝を過ごし、カズベギ山の影に美しく佇むゲルゲティ三位一体教会を訪れる
- 8日目: トビリシ-エレバン。サナヒン修道院とハグパット修道院、セヴァン修道院、ノラドウス-ハチュカルの野原を訪問
- 9日目: エレバン市内観光。エレバン地元のマーケット・公園・美術館・博物館・ギャラリーをバスツアーで楽しむ
- 10日目: エレバン-エチミアジン-ズヴァルトノツ-エレバン。アルメニア人の精神的中心地であり、全アルメニア人のカトリコス総宗教の本拠地であるエチミアジンを訪れる。午後はズヴァルトノツの遺跡見学
- 11日目: ガルニとゲハルト。岩の丘に彫られたガルニ異教寺院とゲハルト修道院を訪れる
- 12日目: コール ヴィラップとノラヴァンクへの日帰り旅行。緑の丘の風景とアララット山の双峰の印象的な景色を楽しむ、重要な宗教のおよび歴史的な場所を訪れる
- 13日目: エレバンからギュムリ町まで運転する。「アリム・ベルド」、つまり「血の要塞」とも呼ばれるエレバン要塞を訪れる
- 14日目: ギュムリからジョージア国境までドライブ。ヴァルジア洞窟都市と修道院を訪れる。夕方には、アハルツィー歴史地区と博物館である「ラバティ」を見学
- 15日目: アハルツィーから伝説のコルクスの首都クタイシへ。旧市街を散歩し、ユネスコ世界遺産を訪れる
- 16日目: クタイシ-メスティア。途中、プロメテウス洞窟洞窟を訪れ、マルトヴィリ渓谷でボートツアーを楽しむ
- 17日目: メスティアでの一日。セティ通り周辺を散歩し、「マチュビ」の住居塔と地元の民族学博物館を訪れる
- 18日目: メスティア-ウシグリ-メスティア。望楼、住居群、大聖堂が独特に交わる中世の要塞村、ウシグリを探索する
- 19日目: バトゥミまで運転する。黒海沿岸の亜熱帯の風景と夜の散歩を楽しむ
- 20日目: バトゥミ観光。バトゥミ歴史地区、旧港、シーサイド大通りを散歩。ゴニコ要塞とバトゥミ考古学博物館訪問
- 21日目: 出発。バトゥミ国際空港へトランスファー

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 3080キロ/ ツアー・最大 310キロ/日
歩行オプション - 6〜9 時間、ハイキング6 時間

ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

カーン宮殿、シェキ、アゼルバイジャン

ハイラヴァンク、セバン湖、アルメニア

ラバト、アハルツィー、ジョージア

広場、バトゥミ、ジョージア



南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国



ゾラツ・カレル、アルメニア

シグナギ、ジョージア

エチミアジン、アルメニア

ジワリ修道院、ムツヘタ、ジョージア

ラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国

アルメニアとジョージアのハイライト

アルメニア・ジョージア

8日/7泊

このプログラムは、ジョージアとアルメニアへの魅力的な旅を提供します。地理的には非常に近いこれらの国々は、自然、言語、本物の衣装、伝統において大きく異なります。国から国へと旅するうちに、文化、激動の歴史、そして雪を頂いた山々から緑豊かな渓谷に至るまでのさまざまな風景と見事な自然の美しさの融合を知ることができます。

- 1日目: アルメニアの首都エレバンに到着。ご宿泊はエレバン
- 2日目: エレバン市内観光。エレバン近郊にあるアルメニア唯一のヘレニズム建築ガルニの神殿、崖を掘り進めて造ったゲラルドの洞窟修道院訪問。ご宿泊はエレバン
- 3日目: エチミアジン - ズヴァルトノッツの日帰り旅行。アルメニア人の精神的中心地であり、全アルメニア人のカトリコス総宗教の本拠地であるエチミアジンを訪れる。午後はズヴァルトノッツの遺跡見学
- 4日目: 国境を越えジョージアの首都トビリシへ。コーカサス最大のセヴァン湖に立ち寄り、湖畔の散策もお楽しみいただけます。セヴァン修道院、ハファルスティン修道院訪問。ご宿泊はトビリシ
- 5日目: トビリシ市内観光、旧市街散策、メテヒ教会、シナゴーク、浴場地区の見学。ご宿泊はトビリシ
- 6日目: 世界遺産の古都ムツヘタへ。スヴェティツホヴォリ修道院やジュワリ聖堂を訪問。ジョージア軍用道路を北上し、途中アナスリの要塞を見学。ご宿泊はトビリシ
- 7日目: ジョージア・ワインの産地カヘティへ向かう。シグナギ町を散策。ジョージア・ワインのワイナリー見学。ご宿泊はトビリシ
- 8日目: トビリシを出発

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 1315キロ/ツアー・最大 345キロ/日
歩行オプション - 4〜7時間、ハイキング1時間



ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

🦿 コーカサス・トラベルは障害者に特別な配慮を払っており、可能な場合には、車椅子の障害者のための優しい環境を作り、改善するように最善を尽くします。ロゴマークのあるプログラムは車椅子でもご利用いただけます。

古代キリスト教の国の旅

アルメニア・ジョージア

14日/13泊

アルメニアとジョージアの歴史は、キリスト教と生き残りを賭けた絶え間ない戦いででした。それにもかかわらず、各国は教会建築の傑作を数多く生み出してきました。ツアー中、お客様は印象的な石の彫刻、壁画、モザイクで豪華に装飾された教会や修道院を訪問します。貴重なイコンのコレクションを訪れ、ユニークな宗教聖歌を楽しめます。

- 1日目: エレバンに到着。空港でのお出迎えとお手伝い。ホテルへトランスファー
- 2日目: エレバン市内観光。「母なるアルメニア」の像を訪れ、エレバンの景色を楽しむ。アルメニアの首都とその美術館・博物館を訪れて丸一日を過ごす
- 3日目: エレバンとその周辺。岩の多い丘に彫られたガルニ異教寺院とゲハルト修道院訪問する日帰り良港を楽しむ
- 4日目: エチミアジンとズヴァルトノッツへの日帰り旅行。全アルメニア人のカトリコス総主教の聖座を訪問する。午後はズヴァルトノッツの遺跡を探索する
- 5日目: セバン湖への日帰り旅行。アルメニアの「真珠」と言われるセヴァン湖やセヴァン修道院、そしてノラドゥズ - 「ハチカル」の畑を訪れる
- 6日目: ギュムリ訪問。エレバンから絵のように美しい町ギュムリまでドライブ。途中、エレビ要塞を訪問し、夜のギュムリを散歩する
- 7日目: ギュムリからジョージア国境までドライブ。ヴァルジア洞窟都市と修道院を訪れる。夕方には、アハルツィー歴史地区と博物館である「ラバティ」を見学
- 8日目: アハルツィーから伝説のホルキスの首都クタイシへ。旧市街を散歩し、ユネスコ世界遺産を訪れる
- 9日目: クタイシ・メスティア。途中、プロメテウス洞窟洞窟を訪れ、マルトヴィリ渓谷でボートツアーを楽しむ
- 10日目: メスティア・ウシュグリ・メスティア。望楼、住居群、大聖堂が独特に交わる中世の要塞村、ウシュグリを探索する
- 11日目: メスティア - クタイシ。スヴァンの住居塔と民族学博物館を訪れ、メスティアを探索する。午後遅くにクタイシに到着
- 12日目: クタイシ - トビリシ。クタイシの旧市街を散策し、重要な文化的および宗教的な場所を訪れる。正午頃、トビリシへ向う
- 13日目: メテヒ高原からのトビリシの紹介。浴場地区を訪れ、旧市街の狭い通りを散歩し、博物館の宝物を探索する
- 14日目: 出発。トビリシ国際空港へトランスファー

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 1795キロ/ツアー・最大 470キロ/日
歩行オプション - 5〜7時間、ハイキング1時間



ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

トルコ北部への延長プログラム

ジョージアとトルコの間の2つの直行便国境通過ポイントと、トビリシ、パトゥミ、バクーからの定期便(トルコ航空)により、当社のツアーをトルコまで有機的に拡張することができ、素晴らしい機会を提供します。伝説のカッパドキアへの旅。トルコ最高のビーチリゾートで休んだり、リラックスしたり、経済、文化、歴史の中心地であるイスタンブールで数日過ごしたりしてはいかがでしょうか。ご希望のわくわく延長プログラムをカスタマイズするには、お問い合わせください。



ムツヘタ、ジョージア

聖フリバシメ教会、アルメニア

アナスリ城、ジョージア

ハガルツィン修道院、アルメニア



ラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国



シェキ、アゼルバイジャン



メスティア、スヴァネティ地方、ジョージア



ジュマ モスク シャマキ、アゼルバイジャン



バトゥミ、ジョージア

南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国

アゼルバイジャンとジョージアのハイライト

アゼルバイジャン-ジョージア

8日/7泊

以下のプログラムは、ツアーのあらゆる面でコントラストに満ちた旅です。8日間、お客様はイスラム建築とキリスト教建築の傑作を訪れ、2つの異なる世界に浸ることができます。モダンでファッショナブルなバクーとトビリシの活気に満ちた生活を楽しみ、田園地帯の僻地、草原、肥沃な溪谷、高地の印象的な風景を探索します。

- 1日目: アゼルバイジャンの首都バクーに到着 ご宿泊はバクー
- 2日目: バクーの旧市街及び郊外(乙女の塔、アブシェロン半島、アテシュギャフ)の観光。ヤナルダグ-燃えている火煙山の見学。ご宿泊はバクー
- 3日目: バクー-シャマフ-シェキ 専用車にてシェキへ。途中、シルヴァン諸王朝の都だった古都シャマフに立ち寄ります。シェキ着後、旧市街を散策(シェキ・ハーンの宮殿等)。ご宿泊はシェキ
- 4日目: シェキからトビリシへ。国境を越え、ジョージア・ワインの産地カヘティへ向かう。途中シグナギ町の見学、ジョージア・ワインのワイナリ見学。ご宿泊はトビリシ
- 5日目: トビリシ市内観光、旧市街散策、メテヒ教会、シナゴーク、浴場地区の見学。ご宿泊はトビリシ
- 6日目: トビリシ-ムツヘタ-ステパンツミンダ。最初にジョージアの古都ムツヘタ町を訪れ、コーカサス山脈の高い山へ向かう途中でジンヴァリ ダムの青い海を見下ろすアナヌリ建築群を探索する。ステパンツミンダでご宿泊
- 7日目: ステパンツミンダ-トビリシ。ステパンツミンダの高地で朝を過ごし、カズベギ山の影に美しく佇むゲルゲティ三位一体教会を訪れる
- 8日目: トビリシを出発

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 1050キロ/ツアー- 最大 190キロ/日
歩行オプション- 5~8時間、ハイキング0時間

ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

カスピ海から黒海まで

アゼルバイジャン-ジョージア

12日/11泊

このプログラムは、文化、宗教、自然の点で大きく異なる隣り合う2つの国を深く見学する機会を与えます。東と西、北と南を結ぶシルクロードやその他の貿易ルートが交差するカスピ海と黒海の間の全域が含まれています。プログラムに沿って遠隔地の村を訪れ、地元の人々と交流し、伝統的なもてなしを楽しめます。

- 1日目: アゼルバイジャンの首都バクーに到着 ご宿泊はバクー
- 2日目: バクーの旧市街及び郊外(乙女の塔、アブシェロン半島、アテシュギャフ)の観光。ヤナルダグ-燃えている火煙山の見学。ご宿泊はバクー
- 3日目: バクー-シャマフ-シェキ 専用車にてシェキへ。途中、シルヴァン諸王朝の都だった古都シャマフに立ち寄ります。シェキ着後、旧市街を散策(シェキ・ハーンの宮殿等)。ご宿泊はシェキ
- 4日目: シェキからトビリシへ。国境を越え、ジョージア・ワインの産地カヘティへ向かう。途中シグナギ町の見学、ジョージア・ワインのワイナリ見学。ご宿泊はトビリシ
- 5日目: トビリシ市内観光。何世紀もの歴史を持つ町を訪れ、その博物館の宝物を発見する
- 6日目: トビリシからクタイシへ。途中、ムツヘタのユネスコ世界遺産を探索し、ウブリスツィへ洞窟都市を訪れる
- 7日目: クタイシ-メスティア。伝説のゴルキス王国の首都クタイシを訪れ、スヴァネティの僻地やコーカサス山脈の高い山々と氷河を目指して北にドライブ
- 8日目: メスティアでの一日。「マチュピ」の住居塔と地元の民族学博物館を訪れ、メスティア周辺の山歩きを楽しむ
- 9日目: メスティア-ウシュグリ-メスティア。望楼、住居群、大聖堂が独特に交わる中世の要塞村、ウシュグリを探索する
- 10日目: メスティア-バトゥミ。スヴァネティ高地からアジャラ地方の亜熱帯までのドライブ。バトゥミの夜歩を楽しむ
- 11日目: バトゥミ市内観光。バトゥミの旧市街、絵のように美しい広場、海沿いの大通りを散歩し、博物館の宝物を訪問する
- 12日目: 出発。バトゥミ国際空港へトランスファー

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 1800キロ/ツアー- 最大 395キロ/日
歩行オプション- 5~8時間、ハイキング2時間

ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

お客様の特定の興味に合わせてツアーを企画し、調整いたします。

特別な旅程、内容調整などのご要望がございましたら、

お問い合わせください。

それに応じてツアープログラムをカスタマイズいたします。

古代の墓、シャマキ、アゼルバイジャン



シグナギ、ジョージア



カーン宮殿、シェキ、アゼルバイジャン



ダディアニ王宮殿、ズグディディ、ジョージア



南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国



ホルヴィラップ、アルメニア



ゲハルト修道院、アルメニア



バクー、アゼルバイジャン



マッド ヴルカーノ、ゴブスタン、アゼルバイジャン

ラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国

アルメニア - キリスト教の揺りかご

9日/8泊

- 1日目: エレバンに到着。空港でのお出迎えとお手伝い
2日目: エレバン市内観光とエチミアジン。エレバンを探索し、市場広場や公園を散歩しながら美術館やギャラリーを訪れる。午後は、精神的な中心地であり、全アルメニア総宗教の本拠地であるエチミアジンへ向かう
3日目: エレバンからゴリスへ。コール・ヴィラップ修道院とノラヴァンク修道院訪問。広大な平原と雄大なアララト山の印象的な景色をお楽しむ
4日目: ゴリスの周辺。古代人類が住居として使用していた洞窟があるクンブレスク村を訪れる。中世アルメニアの精神的、知的中心地であるタテフ修道院を探索する
5日目: ゴリスから絵のように美しいセリム峠を経由してセバンへ。ノラドゥズ、「ハチカル森」十字架の石を訪れる
6日目: セヴァン・ディリジャン。世界最大の高地にある湖の一つであるセバン湖でのんびりとした朝を過ごす。セヴァンヴァンク修道院訪問。
7日目: ディリジャン・エレバン。ディリジャンの短い市内観光を楽しみ、エレバンへ向かう途中、ゴージャヴァンク修道院を訪れる
8日目: エレバンとその周辺。岩の多い丘に彫られたガルニ異教寺院とゲハルト修道院を見学する
9日目: 出発。空港へトランスファー

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 735 キロ/ ツアー 最大 230キロ/日
歩行オプション - 1 ~ 3 時間、ハイキング0 時間



ツアー推奨期間 (緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

アゼルバイジャン - 火の国

9日/8泊

- 1日目: バクーに到着。空港でのお出迎えとお手伝い
2日目: バクー・アプシェロン・バクー。城塞に似た中世の壁に囲まれたバクーの歴史的中心部を探索する。午後は、古い宗教や信仰に関連したアプシェロン半島を訪れる
3日目: バクー・ゴブスタン・バクー。泥火山へ向かい、石器時代の印象的な彫刻が施されているゴブスタン国立保護区を訪れる
4日目: バクーからソ連時代の都市ハチマズを経由してグバへ。人里離れた山間の村ラザを探索する
5日目: グバ・キナリク・バクー。山の急斜面に川石で建てられた家々が印象的で、人里離れたキナリク村を探索する
6日目: バクーからガバラへ。途中、マラザの町とシルヴァン国の古都シェマキを訪れる
7日目: ガバラの周辺。シェキまで運転し、シェキ・カーンの宮殿、古い隊商宿、地元のマーケット広場を訪れる。午後はイリス村の検索を楽しむ
8日目: ガバラからラヒジ村を経由してバクーへ。ラヒジを訪れ、7つの山、7つの泉、7つのモスク、7つの浴場に囲まれた7つの住宅街を見学する
9日目: 出発。空港へトランスファー

ツアー運転、アクティビティ:
距離 - 1415 キロ/ ツアー 最大 280キロ/日
歩行オプション - 4 ~ 6 時間、ハイキング1 時間



ツアー推奨期間 (緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



アルメニア

5日/4泊

エレバン・シティーブレイク

アルメニアの首都エレバンは、古代の歴史、数多くの建築記念碑、博物館、ギャラリーがある都市です。フレンドリーでおもてなしが温かい人々の街です。絵のように美しい周辺には見どころがたくさんあります。アルメニア滞在中に、是非アルメニア使徒教会の宗教的中心地であるエチミアジンをお訪れください。そして、ヘレニズム時代の寺院であるガルニを、隣接する山々を部分的にくり抜いたゲハルト修道院をお訪れください。

エレバンに在る間は、アウトドアマーケット、土産物店、ヴェルニサージュフリーマーケットを探索してください。地元のカフェで休憩し、アルメニア人が最高で最もおいしいと信じているコーヒーを一杯召し上がってください。天候に恵まれれば、エレバンの背後の地平線を印象的に覆う聖なる山、アララト山の壮大な景色を眺めることができます。

1日目: エレバンに到着。2日目: エレバンとエチミアジン; 3日目: エレバン - ガルニ - ゲハルト - エレバン; 4日目: エレバンでのレジャー日。5日目: 出発。

ツアー運転、アクティビティ:
距離: - 2020 キロ/ ツアー 最大 345キロ/日
時間: - 30.5時間/ ツアー 最大 6時間/日

ツアー推奨期間 (緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

エレバン、アルメニア

共和国広場、エレバン、アルメニア



アゼルバイジャン

5日/4泊

バクー・シティーブレイク

バクーは歴史的に西洋と東洋の文化や伝統の間の架け橋としての役割を果たし、両方の恩恵を受けてきました。このコントラストの街では、スカイタワーやファッショナブルな近代建築のある新しい地区から、古代の宮殿やモスク、色とりどりの芸術品や工芸品、おいしい郷土料理、もてなしの人々、温かい歓迎、何世紀にもわたる習慣や伝統がある何世紀もの歴史のある中心地まで、旅行者はそれぞれ自分の好みのものを見つけることができます。

バクーの歴史的中心となる都心部を探索してください。狭い通りや市場広場を歩き、乙女の塔とシルヴァンシャー宮殿を訪れ、最古の石油生産地に足を踏み入れ、アプシェロン半島の見どころを訪れ、ゴブスタンのロックアート風景の古代の岩面彫刻に触れるようにお楽しみください。

1日目: バクーに到着。2 日目: バクーを探索。3日目: バクー - アプシェロン - ゴブスタン - バクー; 4日目: バクーでのレジャー日。5日目: 出発。

ツアー運転、アクティビティ:
距離: - 2020 キロ/ ツアー 最大 345キロ/日
時間: - 30.5時間/ ツアー 最大 6時間/日

ツアー推奨期間 (緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

旧市街、バクー、アゼルバイジャン

バクー、アゼルバイジャン

ラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国



ウプリツィヘ洞窟町、ジョージア



アラベルディ大聖堂、カヘティ、ジョージア



ウシュバ山、スヴァネティ地方、ジョージア



ゲルゲティ三位一体教会、ステファンツミダ、ジョージア

南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国

ジョージア - 金羊毛の国

10日/9泊

- 1日目: トビリシに到着。空港でのお出迎えとお手伝い
2日目: トビリシ市内観光。何世紀もの歴史を持つ町を訪れ、その博物館の宝物を発見する
3日目: トビリシ-ムツヘタ-クタイシ。国で2番目に大きな都市へ運転して西へ向かう。途中、かつての首都であり宗教の中心地であったムツヘタを訪れる
4日目: クタイシとその周辺。アルゴナウタイの壮大な伝説が舞台となったコルクス王国の古都、クタイシを探索する。午後は、ヴァニ遺跡見学
5日目: クタイシ-メスティア。北のスヴァネティまで足を伸ばす。コルクス金の殆どはここで採られていました。スヴァン族は何世紀にもわたって、高くて近づけない山々で外界から遮断されながら、その文化をほぼそのままの形で保存してきました
6日目: メスティアとその周辺。スヴァネティの高地での余暇の一日。ラタリとレンジェリ訪問。中世の望楼や教会のある村では、スヴァン派の図像学について学ぶ
7日目: メスティア-ウシュグリ-メスティア。コーカサス山脈の標高5000メートルを超える巨山に囲まれ、建築的にユニークな中世の要塞であるウシュグリ村を探索する
8日目: メスティア-ズグディディ-バトゥミ。スヴァネティ高地からアジャラ地方の亜熱帯までのドライブ。柑橘類とお茶のランドを楽しむ
9日目: バトゥミ観光。紀元前3世紀から人が住んでいた最古の都市の一つであるバトゥミを探索する。ゴニオ要塞とバトゥミ考古学博物館訪問
10日目: 出発。空港へトランスファー

ツアー運転、アクティビティ:
距離: 1180 キロ/ ツアー: 最大 270キロ/日
歩行オプション: 3 ~ 5 時間、ハイキング1 時間



ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



ジョージア

5日/4泊

トビリシ-シティーブレイク

トビリシは、くつろぎと温かさで生まれた都市です。木製のバルコニーに見下ろされる古い通り、古代のキャラバンサライやホテルが、昔のシルクロードの商人やラクダのキャラバンから、何世紀にもわたる古い地区を探索する最近の芸術家、思想家、観光客までに第二の家として機能してきました。

トビリシの文化、宗教、建築の高地を訪れ、博物館の宝物を探索してください。地元のパブ、レストラン、カフェのゲストになったり、文化的な夜を計画したりできます。コンサート、民族ショーまたは展示会に参加ください。かつての首都であり、ジョージアで最も古い町の一つであるムツヘタをお訪れ下さい。現在、ムツヘタは青空博物館であり、国の宗教の中心地です。

1日目: トビリシに到着。2日目: トビリシ観光。3日目: トビリシ-ムツヘタ-トビリシ; 4日目: トビリシでのレジャー日。5日目: 出発。

ツアー運転、アクティビティ:
距離: ~ 250 キロ/ ツアー: 最大 80キロ/日
歩行オプション: 1 ~ 3 時間、ハイキング0 時間



ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

シャーデン ストリート レストラン、トビリシ、ジョージア

ジョージア州トビリシのメイダンの眺め



マリオンネット劇場、トビリシ、ジョージア



メイダン、トビリシ、ジョージア

南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国 ● コーカサス・トラベルによる南コーカサス諸国



ジョージア

3~5日のパッケージ
バトゥミ国際空港発着の便

バトゥミ-シティーブレイク

狭い通り、広場や公園、博物館や文化施設があり、美しくユニークなバトゥミは、多種多様なホテル、海辺のカフェ、レストラン、バー、パブがあり、急速に近代的な都市として成長しています。



ジョージア

3~5日のパッケージ
クタイシ国際空港発着の便

クタイシ-シティーブレイク

ジョージア第二の都市クタイシは、伝説のコルクス王国の首都であると考えられています。この都市には、さまざまな文化的や宗教的な名所があり、周辺には自然公園や保護区が豊富にあります。



ジョージア

5日/4泊

シグナギ-恋人のシティーブレイク

愛、笑顔、そして豊富なワインの街、シグナギで休んでリラックスしてください。23の塔のある防御壁に囲まれた王都の狭い通りの散歩をお楽しみください。この町には主に商人や職人が住んでいました。そこには多くの門があり、アジアやヨーロッパからの多くのシルクロード旅行者が途中で通過していました。現在、シグナギは、メイン広場に結婚式場があり、曲がりくねった通りを新婚夫婦が歩いているロマンティックで素敵な町です。カヘティ滞在中には、ジョージアのワイン造りの伝統について学べます。ジョージアを離れる前に、トビリシを探索し、何世紀にもわたる古い地区や博物館の宝物もお訪れください。

1日目: トビリシに到着。シグナギへ移動。2日目: シグナギでのレジャー日。3日目: シグナギ - テラヴィ - トビリシ; 4日目: トビリシ観光ツアー。5日目: 出発。

ツアー運転、アクティビティ:
距離: ~ 445キロ/ ツアー: 最大 270キロ/日
歩行オプション: 1 ~ 4 時間、ハイキング0 時間



ツアー推奨期間(緑が多いほど良い)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



プログラム、サービス、その他...

CAUCASUS TRAVEL
SINCE 1991

プログラム: このパンフレットに掲載されている文化・探検プログラム例は、多数のお客様からいただいた要望や興味のある点をもとに作成したものです。通常は、お客様のご期待に合わせたタイラーメイドツアーも企画・設計しています。

提供されるプログラムは、コーカサス諸国を旅し、現地のおもてなしを楽しめるように、地理的に近く位置するが、異なる国々の伝統を体験し、郷土料理を味わい、地元の人々と触れ合い、彼らのライフスタイルを知り、博物館や重要な建築モニュメントを訪れ、低地やコーカサス山脈を訪れて風景の多様性を楽しめる機会を与える。

プログラムは、主に観光や文化体験に焦点を当てていますが、アクティブ・レジャーの要素も大変更をせず、スムーズで有機的に組み合わせることが可能です。ショート・ハイキング、早朝のショート・サイクリングや乗馬、気球体験などは、観光客によく望まれる普通のオプションになっています。

観光: 私たちの観光プログラムは、文化、建築、歴史、遺跡、博物館、美術館、自然、国立公園など、最も興味深く、テーマごとに異なる訪問の組み合わせです。ほとんどの観光地では、簡単な情報が英語で書かれ、ガイドツアーは英語と他のヨーロッパ言語で行われます。現地ガイドが不在または、お客様のご要望の言語を話せない場所では、コーカサス・トラベルのガイドが案内や通訳をいたします。

体験: 文化プログラムと一緒に、地元の人々と交流したり、工芸品のワークショップを楽しんだり、料理のマスタークラスやテーマ別の出会いなど、ユニークな体験を提供いたします。思いがけない場所でのイベントやレセプションを予約し、傑出した興味深い人々、講演者、芸術家、専門家に会えること、乗馬、ホワイトウォーターの簡単なラフティングやその他のアクティビティを楽しむこと、または、リラックスできるポートツアーや気球に乗って魅力的な景色を眺めることなどもできます。

国から国へと旅をして、忘れられない思い出を作りましょう。

供給とネットワーク: 私たちはジョージアとコーカサスの都市や農村部において、プロフェッショナルで信頼できる忠実なサプライヤーやパートナーによって強化されています。長年の相互成功のビジネスと誠実な関係の間に、宿泊施設、ケータリング、輸送、または供給の任意の必要な分野でパートナーシップの巨大なネットワークを獲得しております。これは、私たちの財産であり、最大の強みです。

宿泊施設: 当社は3か国すべてに、高水準のホスピタリティ・サービスを提供する国際ホテルや現地ホテルの幅広い選択肢があります。伝統と快適さを組み合わせております。美しいゲストハウスから高級ホテルまで、多種多様な宿泊施設からお選びいただけます。あらゆるカテゴリーのホテルを提供し、それらの中で一流のホテルと協力し、お客様にお得なプランを提供しています。

食事とケータリング: 地元の最高のレストランで、バラエティーに富んだ国内料理やヨーロッパ料理をお客様に提供しています。中華料理、日本料理、インド料理、タイ料理、その他のエキゾチックなエスニック料理のレストランも3か国すべてに数多くあります。必要なときに、必要な場所で、ピクニック、スナック、果物、飲み物、そしてもちろん移動中に無制限のボトル入りミネラルウォーターを提供いたします。

交通機関: 大人数のグループには中型・大型バス(30~45席)、少人数のグループにはミニバス(15席)やミニバン、個人のお客様にはセダントップやSUVなど、団体の人数に応じて適切なタイプの快適な車両をご用意しています。通常、現地の専門知識を保証するように、ドライバーも車両も国境を越える際に変更されます。

現場経験を積んだ専門スタッフ: 当社のマネージャーと事務スタッフは、ヨーロッパ、アメリカ、日本の様々な一流機関で観光管理の特別なトレーニングを受けています。コーカサス・トラベルは、多様な専門的経歴を持つ人材を雇用・契約しています。これにより考古学、歴史、文化、芸術、民族学など、様々な分野のツアーを企画、設計、実施することができます。

ガイド: 各国において、十分な訓練を受け、経験豊富な一流の専門ガイドを採用いたします。多角的な知識と興味を持った彼らは、自国のライフスタイル、風俗習慣、最高の物事を紹介することに非常に熱心で、地元の人々との適度なコミュニケーションを受け、常にお客様の最善の利益を喜んで保護するように頑張っています。

言語: 当社のマネージャー、事務スタッフやガイドは3~4か国語に流暢です。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、日本語、中国語、韓国語で話し、ツアーを案内することができます。

アクセス...

航空便: ヨーロッパやアジアの主要都市からトビリシ、エレバン、バクー、クタイシ、バトゥミへの直行便が運航しています。運航会社は以下の通り: ルフトハンザ、トルコ航空、カタール航空、エールフランス、コンドール、LOT、エア・バルチック、ウィズ・エア、フライドバイ、ユーロウィングス、ペガサス、エア・アラビア、その他多数。そしてもちろんジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンの国営航空会社。

ビザ: 米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、日本、イスラエル、トルコ、EU加盟国およびCISの国籍者は、ジョージアへのビザは必要ありません。完全なリストは www.mfa.gov.ge でご覧いただけます。ジョージアのビザが必要な方は、www.evisa.gov.ge を通じて電子ビザ(e-VISA)を取得することができます。

アルメニアのビザ要件に関する情報は、www.mfa.am でご覧ください。ビザはアルメニア到着際に国境で取得できます。一部の国の国籍者は、居住国のアルメニア領事館でビザを取得するために招待状が必要です。国のリストは、www.mfa.am でご覧いただけます。

アゼルバイジャンのビザは到着前に手配する必要があります。ビザの要件に関する情報は、www.mfa.gov.az でご覧いただけます。アゼルバイジャンの電子ビザは、コーカサス・トラベルが補足的に提供することもできます。

パスポートの有効期限が6ヶ月以上あること(3か国とも必須)にご注意ください。

ご不明な点、ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください...

私たちはコラボレーションを歓迎し、最も要求の高い顧客を満足させる新製品やプロジェクトの開発に熱心に取り組んでいます。南コーカサスにおいて数十年にわたる事業経験を持つ当社は、多くの国や国籍の旅行者を受け入れ、彼らの文化的、実質的な習慣や期待を深く理解してきました。

私たちは、製品とそのすべての構成部品を慎重に選びます。アイデアの創出から日常業務の物流計画の設計に至って、製品開発の全段階に参加します。当社はサプライヤー(ホテル、レストラン、交通機関など)を常に監視・管理します。製品を開発する際には、個人向けであれ団体向けであれ、内容、安全性、品質、価格の4つの主要なパラメータを考慮します。もちろん、製品の最終的な形は、顧客の優先順位に従って決定されます。

それでは、南コーカサスへようこそ!

素晴らしい文化体験や生涯にわたる印象を持ってくださいますように。

コーカサス・トラベルが加盟社である機関:



Japan Association of Travel Agents



Discover local touch - 108 rooms featured by **MERCURE TBILISI OLD TOWN**

9 V. Gorgasali Street, Tbilisi. T +995 032 200 60 60

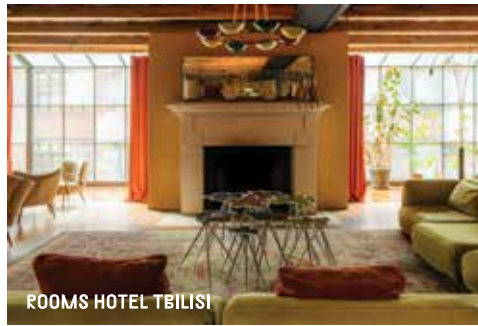


IBIS Styles Tbilisi Center - 119 Rooms For Design Lovers

4 G. Tabidze Street, Tbilisi. T +995 032 200 24 24



ROOMS HOTEL KOKHTA



ROOMS HOTEL TBILISI



ROOMS HOTEL KAZBEGI

CREATING OTSTANDING HOSPITALITY EXPERIENCES IN GEORGIA

Rooms Hotels is a young and independent lifestyle hotel brand based in Georgia that has quickly emerged as the leader of distinctive hospitality experiences in the region. The original Rooms Hotel opened in 2012 in a remote city called Kazbegi in the north of Georgia. Back then, conceptual travel could only be experienced outside of Georgia. And Kazbegi - a hidden treasure - was visited exclusively by adventurous travelers.

As of now, Rooms Hotel creates outstanding hospitality experiences in 3 major cities of Georgia: Kazbegi, Tbilisi, and Bakuriani. In the summer of 2023, Rooms Hotel will also open in Batumi, Georgia's most popular seaside resort. The Rooms Hotels brand is poised to continue its expansion throughout the region, unlocking new experiences and opportunities in a country rapidly forging a bright new identity.



ROOMS HOTEL BATUMI

Summer 2023

1991年以来
世界各地からの旅行者を御案内
コーカサス地方で一番長い経験を持つ旅行会社
一番信頼できる旅行プロの旅行会社

CAUCASUS TRAVEL
SINCE 1991

コーカサス・トラベルは、文化、考古学、民俗学、世界遺産を御案内するツアーのほか、トレッキング、ハイキング、本格的な登山などの綿密な計画と心のこもった実行で30年間以上の経験と実績を積んで参りました。

さらに会社の経営陣とスタッフは、観光先進国のヨーロッパの国々やアメリカ、日本でも特殊なトレーニングを受けており、高い専門技術に裏打ちされた経験とリーズナブルな料金設定、高品質のサービスで、世界各国200社以上の現地手配会社、旅行代理店、イベント・会議・視察研修などの専門手配会社から、パートナーとして御指名いただいております。

また、コーカサス・トラベルは、同様に経験豊かで実績のあるアルメニアとアゼルバイジャンのパートナーとネットワークを確立しており、コーカサス全体の高品質な旅もご提供可能です。

ご提供サービスの例:カルチャーツアー、アドベンチャーツアー、植物観察ツアー、エコツアーのほか、ビジネストラベル、会議やイベント管理サービスの企画・挙行も承っております。

未知を求め・興味溢れる旅へ私たちと一緒に出発しましょう

CAUCASUS TRAVEL LLC.

22 Peritsvaleba Str., 0103, Tbilisi, Georgia
Tel.: +995 32 2987400 +995 32 2931175

E-mail: georgia@caucasustravel.com



member of



文化 - 探検ツアー